

Camara
Nippo-Brasileira
de
Commercio

日伯商業協会 創立總會開催 多數來賓を前に

役員選定を了す

日伯兩國の通商關係促進に就ては勿論各方面在留邦人からも澤山な祝電が寄せられ同會の活動に期待するところがあつた、尙未だ機熱さすとも云ふべきで發會式の席上發表された同會設立趣旨なるものは左の如くであつたか、今日まで具體化するに至らず一般に遺憾とされてゐた、所が多年日本人に關係を有し文化植民地其の他の地主として日本人の氣心も知り将來も日本本人の爲めに力を盡さんとする

日本人好きのマルテンス

土地會社長ゴオメス・マルテンス氏は極めて好意的にはこれが具體の方策を樹てんとし、長い間州農務局に在勤今度一身上の都合で退職し農商界的オーソリテー

ーとして知られたるドットール

カルバーリヨ・バルボーザ氏並に政界の有力者等に計り、日本人方面はマルチンス氏子爵の紹方留吉氏を通じて交渉を爲さ

三日午後四時半から聖市ルア・ヤンエス一八番から聖市目抜きコウト・デ・マガリヤンエスのマルテンス土地會社事務所に於て日伯商業協會發會式を擧げ、ダス・ビルディング三階に移しドットールランドルフオ・モンティオ氏を中心、日伯人出席のもとに幹部の推薦を行つたが、會長にドットール・ジョン・ゴオ

メス・マルテンス・フィヨヨ氏

副會長に本社長黒石清作氏(當日不參りし)、會計にドット

ール・ランドルフオ・モンテ

イロ氏、書記にアルモンド・モントナ・ヨウジ、法律顧問にドット

ランドルフオ・モンティオ氏議

ール・オリヴィエ・ビント氏が選ばれた、そして是等

幹部五名は第一回總會まで臨時推戴と云ふことに決し散會したが、當日は伯國人側から

多數来賓を前にシヤンバンの祝盃を擧げ第一會計、顧問議士(前記の其の後數日を経て林大使より内道を遣むべきだ(グーラ)

て其の日の芽出度き總會を祝し且つ來賓よりの祝辭があつてビーグアを三唱して散會したが、當日出席者の中特に著名なる人々の氏名を掲ぐれば左の如くである

アレメイダ氏

州大蔵長官代理ドットール・マーナ・テ

アレメイダ氏

州大蔵長官代理カナルス・ダイト氏

州大蔵長官代理オーベス氏

オーベス氏

</

農村の負債

長野が筆頭

一億五千万圓

日本の農村、山村、漁村を通じて全負債額は五十四億九千萬圓の巨額に達し、其中農村の負債額は四十五億四千萬圓の八割二分に達してゐるが此の農村關係のみの負債府縣別額或は階級別額其他内容に関する農林省の調査結果は左の通りである

最高は長野縣の二億

府縣別 負債額

五千萬圓、第二位が

静岡縣の二億二千萬

第三位が北海道の二億二百萬

で、柄々、秋田、山形、茨城、

千葉、新潟、富山、岐阜、兵庫

廣島、愛媛、福岡、熊本は何れも一億九千萬圓乃至一億圓に達してゐる、其他の府縣は一億圓以下で最小額は東京府の六百五十九萬一千圓である、長野縣が最多額を占めてゐるのは同縣の農業が養蚕に偏してゐる結果、打續く繭系價の下落に最も深刻なる影響を受けた爲であらう

農家階級別の負債額

通りである(單位千圓)

青森縣 一〇〇〇 小作農三〇〇〇 自作農六〇〇〇

地主六〇〇〇 其の他二〇〇〇 計三八〇〇

茨城縣 一〇〇〇 小作農七〇〇〇

地主六〇〇〇 自作農九〇〇〇

奈良縣 一〇〇〇 小作農二〇〇〇

其の他二〇〇〇

以上のように見れば地主

自作農の負債額が最も多く、小

作農は遙かに少くなつてゐるが

小作農の殆んど全部は五歩未

満の零細農である關係上、他の階級に比し特に負債の強度を感じる

奉祝天長節

自動車附屬品商

小牧政敏

富田屋

奉祝天長節

海外興業株式會社

伯國支店

聖市旅館同業組合

中山忠太郎

坊迫健造

末廣大和

小川源右衛門

コンセレーラ・フルタード街七A

電話一一四四七六

石原桂造

コンセレーラ・フルタード街二

電話一一三六九〇

秋田彌三郎

コンセレーラ・フルタード街二

電話一一三九一

東京館

ボニータ街一

電話一一三九一

岡本龍太郎

フルタード街一七

電話一一三九一

奉祝天長節

清寺保吉

聖市コンセレーラ

電話二二二六八八

伊藤庄吉

聖市コンセレーラ

電話二二二六八八

奉祝天長節

聖市コンセレーラ

電話二二二六八八

聖市コンセレーラ

電話二二二六八八

奉祝天長節

奉祝天長節

金城山戸

Av. Condeess São Joaquim, 26

São Paulo

奉祝天長節

福岡縣海外協會

サンパウロ市支部

大原兄弟商會

奉祝天長節

奉祝天長節

大河内藥化學研究所

聖市サントアマロ街一三三一
〔電話〕一一四八一八
〔郵函〕一〇八二本店ノロエステ線
支店アラサツーバ市
同線グアララベス町
聖市バウラソーザ街四六B
〔電話〕四二一八三一聖市コンセレーラ
(中央商店の前)
〔電話〕一一三〇一九

日伯歯科醫院

村上真市郎

聖市コンセレーラ
〔電話〕二二五六三八

電話二二五六三八

聖市コンセレーラ
〔電話〕二二五六三八

電話二二五六三八

生れて廿四年、あの時既に
つかされた事はなかった。
「どうだつたい……」
「タノ、輔輪卒だつてさ。
「アラ、厭だ、輸卒かい？」
「袋は？そ、そを同時に使
な聲を出して、さも案外だ
だ。

「だつて、これア母さん
任があるんですよ。」

僕は済本なんか厭だから是
つて済本つた時の、白川駒
の見事な禿頭を厭ひ出した。
「ちの大佐が言ひましたよ。
無理だ、歩兵志願ならも
やれ母さんに相談して來
「まあそんな事はつたの、
でもお前、そんなに小さ
ながつたのに、やつぱり
つたんだね。」

僕は完全にクサつちやつた
家まで、お袋の顔を見るな
を並べてやううと意氣込んだ
たが、手鏡にかけて廿四年
いんじやないかしらと心配
やうなお袋の顔を見るこ
くなつて終つた。

「い、んですよ母さん、
だつて、お國の爲には無く
兵隊の一種だし、別に仕づ
である。

眼の色を要へて僕は、被さ
さいふ彼女をさづつがまへ
たものだ。

「どうだろな、なあいに
な。見かけは貴婦だけど。
するぞ、彼といふ彼は、
ニヨリと笑へつて、妙
つきで、僕の頭から靴をま
して、暗んで捨てるやうに
一チエ、笑はせやがれ。
そして又、彼といふ彼女
のやうに唄曲だ。
一ねじに、きつこ、わ
ずみたいでさうと思ふわ
「Assaggio」取つて鳥は
かし我れ世に廣てりだ。藍
を刺り落したやうな、餘り

四縁から愛想をうけたやうで、さす顔付き飲食にも半分は貴重非歩兵にしろ隊區司令官殿歎息「」

奉祝天正
三吉 建築請負業
サントス セナダ・フネ

ノント
航天巨
文人業
長節
市
ト
一ショ街二〇

・ス日	長節	原	奉祝	仲	奉祝天	近	奉祝天	伊	奉祝	日の出
-----	----	---	----	---	-----	---	-----	---	----	-----

レ波興 天長節
製麺所 ントス市 ドロ・アメリ
電話……一
本人 藤周一 長節
桑田菓子 村渠一
セナドル フエジョ五
ントス市 電話……一
セナドル フエジョ五

會 三七一 五番 子店 郎 廣 郎 トス市 三郎 三四九 三街四 部 祚

奉祝天長節

成 本

古謝功
長節前田テ
ランサント
電話郵

力ミサ館義市〇〇八太郎モントビ

奉 船輸出ノリヤリ
ツカミツノリヤリ
サ
一
デステ
カン
デステ
ンダ
中央線

祝三
出輸入手
舶賣
オサザ
ントス市
ニイデ
ビンダモニ
モニセ

天長 笠塔 繰取扱
ノラスクーナントス
電郵 商込

長節旅館 小淵

六四、二六、
二九、一
六五、一
友市館
山
一五番地
一一號
農場
一五九號
郵函一〇號

奉祝天長節

サントス日本人會

奉祝天長節

建築請負業

奉祝天長節

原田菓子店

珈琲ヨミサリオ

力
一

東山

東山

天長節祝賀野球
天長節祝賀野球の意を以て本日開催する。リス市竹田運動具店主催野球大会には、教育会参加教員連出場と云ふので人気を彌が上にも煽つてゐるが、當日の試合組合せは「リス教員チーム」

リス教員チームで、火を發するやうな高熱を上げ観者の血を沸かすと期待されてゐる。

天長節祝賀野球の意を以て本日開催する。リス市竹田運動具店主催野球大会には、教育会参加教員連出場と云ふので人気を彌が上にも煽つてゐるが、當日の試合組合せは「リス教員チーム」



今後引き継ぐ努力との事である。

在伯廿五周年記念 納骨堂建設趣意書

昭和八年六月十八日は我同胞在伯二十五周年紀念に相當する日なり、明治四十一年六月十八日第一回輸送船笠戸丸はナントス港阜頭に我が平和の戦士七百九十餘名を上陸せしめて以來二十五年歳と共に其數を増し今や十五萬の同胞を數ふるに至れり、祖先代々住み慣れし故郷より或は又なき兩親に別れ或人は最も愛すべき子女を残し置き我國遠開拓の爲めに此の南米大陸に來りて奮闘努力せしも業半にして或は倒れ或は傷つき此の地に骨を埋めし先輩諸氏少しくせず、別して我北西線は在伯同胞の大集團地にして農工商共に其の發展振りの隆盛なる事蹟皆の能く知る所なり、是れ偏に先輩犠牲者の賜に外ならずとし各驛に於ける同胞は此の二十五周年を期とし相當の紀念事業及び紀念祭を催すと云ふ

日本は米國及び全世界に精神を附與し得るのである、私は日本が世界の救世主を出す搖籃であつたので廣本も本心に立歸へたのであるが、

△松岡氏は頗る若く見える、其

声は穩かで、其態度は懇摯である

にも拘らず、米國で教育を受けた此首席全權の強い人格を隠すことが出来ない、少し反り身

ひさご亭に病氣療養旁々假寓してゐる間に廣木氏と情關係が出来、ぐんく深く入つてカフ

エランジャ町に妾宅を構へるや

うになつた其の頃から親しい友

之を拭ふた後に、思慮深きもの

如くに、再び之を懸けて曰く

日本は米國及び全世界に精神を

附與し得るのである、私は日本

が世界の救世主を出す搖籃であつたのであるが、

△松岡氏は頗る若く見える、其

声は穩かで、其態度は懇摯である

にも拘らず、米國で教育を受けた此首席全權の強い人格を隠すことが出来ない、少し反り身

ひさご亭に病氣療養旁々假寓してゐる間に廣木氏と情關係が出来、ぐんく深く入つてカフ

エランジャ町に妾宅を構へるや

うになつた其の頃から親しい友

之を拭ふた後に、思慮深きもの

如くに、再び之を懸けて曰く

日本は米國及び全世界に精神を

附與し得るのである、私は日本

が世界の救世主を出す搖籃であつたのであるが、

△松岡氏は頗る若く見える、其

声は穩かで、其態度は懇摯である

にも拘らず、米國で教育を受けた此首席全權の強い人格を隠すことが出来ない、少し反り身

ひさご亭に病氣療養旁々假寓してゐる間に廣木氏と情關係が出来、ぐんく深く入つてカフ

エランジャ町に妾宅を構へるや

うになつた其の頃から親しい友

之を拭ふた後に、思慮深きもの

如くに、再び之を懸けて曰く

日本は米國及び全世界に精神を

附與し得るのである、私は日本

が世界の救世主を出す搖籃であつたのであるが、

△松岡氏は頗る若く見える、其

声は穩かで、其態度は懇摯である

にも拘らず、米國で教育を受けた此首席全權の強い人格を隠すことが出来ない、少し反り身

ひさご亭に病氣療養旁々假寓してゐる間に廣木氏と情關係が出来、ぐんく深く入つてカフ

エランジャ町に妾宅を構へるや

うになつた其の頃から親しい友

之を拭ふた後に、思慮深きもの

如くに、再び之を懸けて曰く

日本は米國及び全世界に精神を

附與し得るのである、私は日本

が世界の救世主を出す搖籃であつたのであるが、

△松岡氏は頗る若く見える、其

声は穩かで、其態度は懇摯である

にも拘らず、米國で教育を受けた此首席全權の強い人格を隠すことが出来ない、少し反り身

ひさご亭に病氣療養旁々假寓してゐる間に廣木氏と情關係が出来、ぐんく深く入つてカフ

エランジャ町に妾宅を構へるや

うになつた其の頃から親しい友

之を拭ふた後に、思慮深きもの

如くに、再び之を懸けて曰く

日本は米國及び全世界に精神を

附與し得るのである、私は日本

が世界の救世主を出す搖籃であつたのであるが、

△松岡氏は頗る若く見える、其

声は穩かで、其態度は懇摯である

にも拘らず、米國で教育を受けた此首席全權の強い人格を隠すことが出来ない、少し反り身

ひさご亭に病氣療養旁々假寓してゐる間に廣木氏と情關係が出来、ぐんく深く入つてカフ

エランジャ町に妾宅を構へるや

うになつた其の頃から親しい友

之を拭ふた後に、思慮深きもの

如くに、再び之を懸けて曰く

日本は米國及び全世界に精神を

附與し得るのである、私は日本

が世界の救世主を出す搖籃であつたのであるが、

△松岡氏は頗る若く見える、其

声は穩かで、其態度は懇摯である

にも拘らず、米國で教育を受けた此首席全權の強い人格を隠すことが出来ない、少し反り身

ひさご亭に病氣療養旁々假寓してゐる間に廣木氏と情關係が出来、ぐんく深く入つてカフ

エランジャ町に妾宅を構へるや

うになつた其の頃から親しい友

之を拭ふた後に、思慮深きもの

如くに、再び之を懸けて曰く

日本は米國及び全世界に精神を

附與し得るのである、私は日本

が世界の救世主を出す搖籃であつたのであるが、

△松岡氏は頗る若く見える、其

声は穩かで、其態度は懇摯である

にも拘らず、米國で教育を受けた此首席全權の強い人格を隠すことが出来ない、少し反り身

ひさご亭に病氣療養旁々假寓してゐる間に廣木氏と情關係が出来、ぐんく深く入つてカフ

エランジャ町に妾宅を構へるや

うになつた其の頃から親しい友

之を拭ふた後に、思慮深きもの

如くに、再び之を懸けて曰く

日本は米國及び全世界に精神を

附與し得るのである、私は日本

が世界の救世主を出す搖籃であつたのであるが、

△松岡氏は頗る若く見える、其

声は穩かで、其態度は懇摯である

にも拘らず、米國で教育を受けた此首席全權の強い人格を隠すことが出来ない、少し反り身

ひさご亭に病氣療養旁々假寓してゐる間に廣木氏と情關係が出来、ぐんく深く入つてカフ

エランジャ町に妾宅を構へるや

うになつた其の頃から親しい友

之を拭ふた後に、思慮深きもの

如くに、再び之を懸けて曰く

日本は米國及び全世界に精神を

附與し得るのである、私は日本

が世界の救世主を出す搖籃であつたのであるが、

△松岡氏は頗る若く見える、其

声は穩かで、其態度は懇摯である

にも拘らず、米國で教育を受けた此首席全權の強い人格を隠すことが出来ない、少し反り身

ひさご亭に病氣療養旁々假寓してゐる間に廣木氏と情關係が出来、ぐんく深く入つてカフ

エランジャ町に妾宅を構へるや

うになつた其の頃から親しい友

之を拭ふた後に、思慮深きもの

如くに、再び之を懸けて曰く

日本は米國及び全世界に精神を

附與し得るのである、私は日本

が世界の救世主を出す搖籃であつたのであるが、

△松岡氏は頗る若く見える、其

声は穩かで、其態度は懇摯である

にも拘らず、米國で教育を受けた此首席全權の強い人格を隠すことが出来ない、少し反り身

ひさご亭に病氣療養旁々假寓してゐる間に廣木氏と情關係が出来、ぐんく深く入つてカフ

エランジャ町に妾宅を構へるや

うになつた其の頃から親しい友

之を拭ふた後に、思慮深きもの

如くに、再び之を懸けて曰く

日本は米國及び全世界に精神を

附與し得るのである、私は日本

が世界の救世主を出す搖籃であつたのであるが、

△松岡氏は頗る若く見える、其

声は穩かで、其態度は懇摯である

にも拘らず、米國で教育を受けた此首席全權の強い人格を隠すことが出来ない、少し反り身

ひさご亭に病氣療養旁々假寓してゐる間に廣木氏と情關係が出来、ぐんく深く入つてカフ

エランジャ町に妾宅を構へるや

うになつた其の頃から親しい友

之を拭ふた後に、思慮深きもの

如くに、再び之を懸けて曰く

日本は米國及び全世界に精神を

附與し得るのである、私は日本

が世界の救世主を出す搖籃であつたのであるが、

△松岡氏は頗る若く見える、其

声は穩かで、其態度は懇摯である

にも拘らず、米國で教育を受けた此首席全權の強い人格を隠すことが出来ない、少し反り身

ひさご亭に病氣療養旁々假寓してゐる間に廣木氏と情關係が出来、ぐんく深く入つてカフ

エラン

業を營み労力を經濟的に使用す
本の北部大地震に次いで大津浪
があつたかと思ふと、間もなく
北米の加州ロサンゼルスにも大
地震が起つて花の都を手玉を取
るやうに翻弄しましたね、と、
云つて日本の餘か北米まで洋行
してロサンゼルス地方を震動せ
しめた譯でもないでせうが、何
んだか日米關係が不穏の際双方
に地震があつたなぞは餘り縁起
でもないやうですね。

それはさうと我が同胞の多く住
んでゐますブラジルはサンパウ
ロ州及び隣州におきましても今
年は良い年だとは云へませんね
珈琲價は益々下落、借金の有る
シチユアンテは到底切りぬけ
られず、棉花も或る場所では旱魃で
半減、棉作も亦旱魃の所は相當
に値段が十一糸内外と云ふの
八針でしたから、大いに惠まれ
たと云ふ譯でしたが、中時は照
續く旱魃、爲めに大減收、おま
けに値段が十一糸内外と云ふの
八針でしたから、即賣せねばならぬ
人々には大分打撃でした、然し
來月頃收穫の運びの分は旱魃の
せいで當脱れと云ふ感も
ありませう。

どうせ世の中の事ですから思ふ
やうには行きまずまい、だがブ
ラジルはインフレーション景氣
だなどと云はなくとも、自體農
業国であるだけに、多角式に農
業を營み労力を經濟的に使用す

大觀して一杯

祝盃を

一記者

るなら、相當儲けて行けるのだ
から此の不況の場合不足も云へ
ますまい。

ときに近頃は、邦人界にも女殺
しだの、心中だの、駆落だのと
来たやうですね、殊にリンスの
心中沙汰は相當な位、蓋に居る男

が意を決しての事であるだけに
社会を驚かしたやうですね。

然し社會の出来事は、未だ起き
ない前なら其の社會に當嵌まる
道徳論も良いし、必要もある

のですが、既に持上つて尋常の
手段では引戻せない場合——特
に男女の性問題——は、普通一
遍の道徳的諫言や友情の忠言や
利かして臨機の方法を執るが
良いやうですね。

大觀すれば世の中のこと皆運命
と云へませうね、焦つても腕い
て成るやうにしかなりません

から、アーヘー已れを直して天
命を持つと云ふより外に道がない
のでせうね、餘り心配して見
たつて、納め得ることなら可い

が、天災地變と云ふやうな事で
すと、誦らめて善後策を講ず
るより外はないではありませんか
か、今日は日本民族に取り樂し
かるべき天長の佳節、小事を拾
上げて彼れ是れ言ふよりは大
觀論で一杯御酒でも揚げて大

が、良くないうやうですから。
祝し樂しまふではありませんか
か、良くないうやうですから。

奉祝天長節

バール源河

リソス市ルイズガマ

内外品雜貨商

宿泊所主任

安田貞喜

奉祝天長節

愛善組合

バール兼待合

宇野吉之助

ガソリーナ雜貨商

ノロエスチ變更線グラ、ビス驛

精米所、雜貨商

グワデルタイヤ一手販賣
ガソリーナ、ニネラジーナ

ノロエスチ變更線

グラ、ビス驛

奉祝天長節

出森商店

ベンナボリス驛

中央日本人會

ビリグ井

奉祝天長節

佐藤商店

内外品雜貨商

奉祝天長節

佐藤商店

佐藤常喜
ベンナボリス驛

奉祝天長節

バール東京

リソス市

ルイスガマ街角

奉祝天長節

眼科醫 加藤憲

洗灌業

外從業員一同

ドットル・ジョン・ルイス

奉祝天長節

比嘉松義

洗灌業

鑑倉義雄

リソスルイズガマ街三六(電話)二七

日伯拓植株式會社

奉祝天長節

ホテルホザ力
保坂龜藏

奉祝天長節

木テルホザ力

保坂龜藏

奉祝天長節

瀨ノ上商會

ノロエスチ變更線
グラ、ビス驛

奉祝天長節

佐藤商店

佐藤常喜
ベンナボリス驛

奉祝天長節

比嘉松義

洗灌業

鑑倉義雄

リソスルイズガマ街三六(電話)二七

バーマンサ農場

ノロエスチ變更線
グラ、ビス驛

奉祝天長節

御旅館

リソス市

水城機械

次

祝奉天長節

雜貨商

本田授商店

グワ井サーラ驛

奉祝天長節

サバタリア ジャボ子一

リソス市ルイズガマ街三三

アヴァニアヤンダーバ驛

今日の佳き日

今日の佳き日
リンス支社

今日の佳き日とは、更めて申すつ擴大せしめねばならぬのであります。一年の中には祭日もござりますが、これには倍々大國としての努力が必要となるのであります。

祝日も澤山あります。天長節ほど我々に取つて嬉しく樂しく思ふものはないのであります。其の裡にも本年の天長節は抑へ思ふものはないのであります。一體それは何せでせう、同胞波伯廿五周年の天長節であるからでせうか、それもありませう、さしがあるのであります。但しこれよりも大なる理由があります、と、云へば皆さでせうか、それもありませう、だが、またそれよりは、日本は國もお判りでせうが、日本は國の反対に他に憂ひに對しては、それと同時に他と親しみ、俱が、またそれよりは、日本は國の反対に他に憂ひに對しては、それと同時に他と親しみ、俱から自主的強硬外交に移つた第一次の天長節であるからであります。

實際日本は、日清戰爭に勝つた時の天長節も、日露戰爭に勝つた時の天長節も、歐洲大戰に勝つた時の天長節も嬉しかつたのではありませんが、今年の天長節は、これと異つた意義に於て大いに嬉しいのであります。即ち滿洲の獨立を扶け、熱河省を安全たらしめ、尚ほ支那の政治家を歴へて、東洋の平和を樹立する端緒を開いた年の天長節であるからであります。

又、それと同時に自分自儘な國際聯盟に日本の言はんとする處を言ひ、國際正義とは、國際平和とは、只法律的解釋や、規約の文字解釋では到底實現し得べからざるものなることを明かに歌ふ天長節の喜びは、今も猶し、事實に即して正しいものを授け、誤れるものを教へ導かねばならぬことを知らしめ、表面は兎に角、内心日本にやられたと、歐米諸國を憤慨せしむるまことに至らしめしは確かに日本の勝利であつて、此の世界的大活躍第一次の天長節は、何んと云ふても抑へ難き嬉しさであるのであります。

然し此の嬉しさは、只一時的嬉しさであつてはならぬのであります。今年は勿論來年も、またまでもなく、天長の佳節の事であります。一年の中には祭日もござりますが、これには倍々大國の努力が必要となるのであります。

しかば其の努力とは何んななるは申すまでもありませんが、各自銘記出たき大祝日でありますから、帝國國力外交の第一次の反対に他に憂ひに對しては、それと同時に他と親しみ、俱んで之を慰め、平和郷を樹立する事であります。

社會の構成者となつて、自分が自已の本務に盡すことの必要あるかと云へば、各自銘記出たき大祝日でありますから、帝國國力外交の第一次の反対に他に憂ひに對しては、それと同時に他と親しみ、俱んで之を慰め、平和郷を樹立する事であります。

今日の天長節は、前に云ふ通り廿五周年的記念すべき年の佳節であり、帝國國力外交の第一次を更に擴充して全世界に及ぼすの端緒を開いたなら、是れは日本のお祝ひ大に祝し且つ樂しみ、日の佳き日を心から祝し奉ることであります。

明治生昭和の天長節

奉祝天長節

バール篠原

奉祝天長節

バウル一地方醫局
ドツトル
齋 藤 等

奉祝天長節

奉祝天長節

原電氣工業舍
K. KANABARA
Rua Gerson Franco, 7-80, Bauru, Noroeste

奉祝天長節

バウルー市驛前

奉祝天長節
珈琲穀物
仲買商
藤原久人

Representante de
Bartholomei Serra & Cia.
Commissario de Café Santos
珈琲穀物 仲買商 奉祝天長節
ノロエステ線 カフェランヂア
電話一八郵函五 藤原久人

奉
鐵
工
所

奉祝天長節

聖市支店
金原
久藏

奉祝天長節

新文書

奉祝天長節

沖山心平

奉 祝 福 原 信 義

「どうだいビル、勤めの方は」「ソートーなもんさ、僕の下に五人も働いてるです」
「ほんとかい、それあー」「モチサ——たつて僕の事務室は二階なんだ」

奉 祝

平野産業組合

ノロエステ線
カフエランヂア

カフエランヂア驛
電話一一郵函七五

祝 福 原 信 義

信義

祝 平野産業組合

カフエランヂア驛
電話一一郵函七五

奉祝天長節

有限会社 プロミツソン

産業組合

北西線プロミツソン町
郵函三五〇 電話一七

奉祝天長節

歯科醫師 向井丈松

北西線プロミツソン町

奉祝天長節
山本政義

旅館 ビリグ井町
ホテル アラサツーバ
平井八十衛

奉祝天長節

奉祝天長節

大量仕入

薄利多賣

内外雜貨食料品

卸小賣商

カーサタケベ

店主 武部寛一

奉祝天長節

奉祝天長節

本店

アラサツーバ市(郵函六七A)
倉庫事務所

カーサ東山代理人

珈琲
雜穀
仲買商

藤田 實

支店

ノロエステ變更線

珈琲精撰、製材所

支店
珈琲精撰所
ビリグ井驛ニボランヂヤ町

安瀬商店

アラサツーバ市
精米所、珈琲倉庫
總取引事務所
電話五二 郵函二〇八
アラサツーバ驛

奉祝天長節

部樂俱業商ソフミロブ

平田商店

郵函四七 電話一二

菓子製造所

平田武雄

飯田商店

郵函一八 電話三五

松藤商店

郵函三二 電話二一

仲眞商店

郵函三三

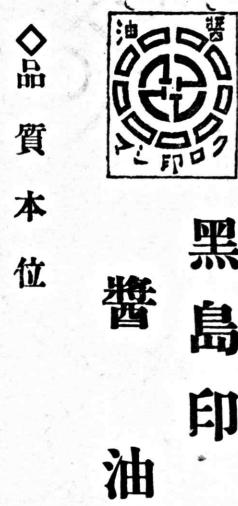
製麵所

屋比久孟德

奉祝天長節
臣衛

歯科醫寶

アラサツーバ驛



奉祝天長節

◆美味しくて
◆割の利く

黒島印油

奉祝天長節

アグアリンバ植民地
日用品一切販賣

珈琲園經營

バルバライヅ町(ノロ變更線)
精米所、農產物仲買
土地販賣事務所

アラサツーバ市

精米所、珈琲倉庫

總取引事務所

アラサツーバ驛
電話五二 郵函二〇八

リア町在住者
姓氏考

一記者

天長節の佳節を祝してマリリア地方に就て何かお茅出度い記事を書けど言ふ命令だ。元來兵隊の事だからハイ書きます。立派に複説はしたものの、立派を取つて原稿用紙に向つて見ると駄目だ。薩張り書き盡してしまつた、今更マリリアの人文的地文的價値如何を云々して見所で笑はれる許りだ。漫談的に一席仕らう、調べた揚句、考へついたのがマリリア町在住日本人諸君の『姓氏考』と言つちやナと大げさだが、漫談の數が八五、其内二字姓が断然多くて八一、三字姓が二、二字姓が二、二字姓の内で下に田のつく姓が一七、上につく字は濱、林、池、矢、藤、本、隅島、下、梅、岡、吉、淵、面、舟津、岡崎、宇江、大崎、村崎福、永、村で仲々お芽出度い字が多い、其次に多いのが海に因んだ姓氏で崎、濱、沖、宮崎、中島、大島、深洋など十二ばかりある、山川草木に因んだものには小川あれば長谷川あり、又岩川がある、小畑あれば小園あり、古川あれば清水あり、大堤があれば八が坂あり、大竹に對する小林、野口と山口、坂本と山本と岡本のトリオや道下に山下、内山に遠山、原に神原藤原、中原があれば、山に小山があつて大山がないのは淋しい山内はあるが山外つてのは無い大場と小出は八々見ないだなんある、村にも中村があり奥村がある、村と云ふのがつて損花岡、吉岡、重岡なんてのは聞いただけでも豊穣なカフエザー

ルを想はせる、野に中野あり、木、荒木、鈴木と植物學上何科に屬すか知らぬが販かに立並んで居る、母國の名所を思ひ出されるものに高尾、別府あり、紅葉の名所と温泉で名高い、三登刈茅、照屋、西龜などは先づ珍名の中へ入れてよからう、その最も読み難く年鑑編輯子をして屡々ベンを投じ三嘆之を久しうせしものは沖縄の方々の姓氏名だ、何とか『沖縄姓氏考』てなもそのを物して豪を啓いて下さる篇志家はないものか知らん(終)

奉祝天長節

バール太田

パウリスタ延長線
ペラクルース

奉祝天長節
青年聯盟

パウリスタ延長線

奉祝天長節
日本藥局

海老根喜重
マリリア驛サンルイス街

奉祝天長節
上田商店

上田留治
パウリスタ延長線
ペラクルース

奉祝天長節
山本洋服店

本店 北西線リニス驛
支店 パウリスタ延長線
マリリア驛

奉祝天長節
齋藤商店
好位
パウリスタ延長線ペラクルース

奉祝天長節

岡崎司三
マリリア驛
電話 七二二

奉祝天長節

山下商店
マリリア驛サンルイス街六
郵函 二七八

奉祝天長節
齋藤商店
好位
パウリスタ延長線ペラクルース

奉祝天長節
力ーザセギ
雜貨商

岡本春一
主店
サンルイス街六番
マリリア驛

奉祝天長節
岡田太田商店
雜貨商

マリリア驛サンルイス街八二
郵函 一六六

奉祝天長節
齋藤商店
好位
パウリスタ延長線ペラクルース

MECANICO

CAIXA POSTAL E
AVENIDA SAMPAIO VIDAL 66

MARILIA
奉祝

本店 北西線リニス驛
支店 パウリスタ延長線
マリリア 驛

奉祝天長節
齋藤商店
好位
パウリスタ延長線ペラクルース

OFICINA AUTO GERAL
天長節
福井博司
修業機械器具
其他機械器具
修理
PAULISTA LINE MARILIA
APENIDA SAMPAIO VIDAL
BIDAL 166

わが兵を
神様挾み
這次の熱河攻撃で岡村先
遣部隊が安中の出發して
和専房子の部落に入つた
時の事である。M少尉は部落民の一人に
案内されて奥まつた高處に出やうとした
際、餘りの暗さに腰中電燈を取り出し點
火したがその瞬間、獸々として案内して
いた伴の男は「アッ」と叫んでその場に
へたばってしまった。而確つたM少尉は
早速その跡を質す。原因は腰中電燈があ
るところが判つた。そこで附近の者を集め
腰中電燈の説明を一々さりとけし後
「新うやつて蟲か吹きかけるを忽ち消
る」
「蟲か吹きかけるを同時に點滅の如な
かして見せ
「さうだ……一つやつて見てば……」
「點火したまゝ一人に渡した、そこで其
中の一人しきりに「フツー・フツー・」
さ息なかけるが鉛の動かすことを知らな
いので電燈は一向に消れない。「アイナ、
アイヤ! お送りして我府兵を神様の生れ
る」
「蟲か吹きかけるを同時に點滅の如な
かして見せ
「エイタ!」「ナツ!」

熱河討伐

皇軍閑話

中村○園長以外のところで感概無量の態

「だ前はランプをつけたことがあるか」

「ハラ……生れて初めてであります」

「そうじやらうなア、俺達の若い時分に

はランプの下で勉強したものじやが……」

中村○園長

奉祝天長節		奉祝天長節		奉祝天長節		奉祝天長節	
製 麵 所	荻堂商店 アルヴァレス ブルデンド市 マツシヤード肆	山口商店 ソロカバナ線 ナルデス町郵函三六番 ナアナスタシオ肆	原田商店 ソロカバナ線ブベル ナルデス町郵函三三番 ナアナスタシオ肆	岡田商店 ソロカバナ線ブベル ナルデス町郵函三三番 ナアナスタシオ肆	山中三象 ソロカバナ線ナアナ ナアナスタシオ	平岡和一 アルヴァレス マツシヤード肆 祝天長節	横尾佐一 アルヴァレス マツシヤード肆 祝天長節
比嘉又榮 ソロカバナ線 アルヴァレス マツシヤード肆	奉祝天長節	割子田商店 ソロカバナ線 アルヴァレス マツシヤード肆	奉祝天長節 棉花及農產物仲買 雜貨商	瀬戸口商店 ソロカバナ線ナアナ ナアナスタシオ肆	奉祝天長節 雜貨商、運送業	瀬戸口商店 江藤音市 ソロカバナ線ビケロビー町	瀬戸口商店 江藤音市 ソロカバナ線ナアナ ナアナスタシオ肆
岩倉商店 ソロカバナ線 オーリンニヨス町 ソロカバナ線 アルヴァレス マツシヤード肆	奉祝天長節 内外雜貨	長谷部三義 支藤本春市 ソロカバナ線 ランシャリア肆 「郵函」一五四	奉祝天長節 奉 天 長 節 天 長 ...	松倉好彌 珈琲雜穀仲買 内外食料品雜貨商 バラグアースー市 郵函八二	北口商店 内外雜貨商 ソロカバナ線 ブベルナルデス町 郵函一四番	德田商店 ソロカバナ線 ア・マツシヤード町	堀歯科 ソロカバナ線
三野商店 ソロカバナ線 ア・マツシヤード町	奉祝天長節 雜貨商	奉祝天長節 田實商店 ソロカバナ線 ブベルナルデス町 電話四五番 郵函一八番	奉祝天長節 田實商店 ソロカバナ線 ブベルナルデス町 電話四五番 郵函一八番	奉祝天長節 松倉好彌 珈琲雜穀仲買 内外食料品雜貨商 バラグアースー市 郵函八二	北口商店 内外雜貨商 ソロカバナ線 ブベルナルデス町 郵函一四番	堀歯科 ソロカバナ線	聯盟 ソロカバナ線 ブ・ペルナルデス町 電話四五番 郵函一八番

奉 祝 天 長 節

稻毛父子合名工場

荷車大小、家具一式
農具、刃物、製罐、鐵工業一切
稻毛式プランタ機製作所

ラウ 長節 青年會

カバナ線ブ・ウエン セスラウ郵函十六番

医 本 禮 造

ソロカバナ線
ブ・ウエンセスラ
「郵函」……四

奉祝天長節
雜貨商
水城商店
忠見
ソロカバナ線ブランセスラウ
郵西十六番

「邪けんだなア此のウドン屋
は……では濟まねえ斯うしやう。
お前の服装と乃公の服装と暫らく
の間取りかへやうじやねえか
お前にこの廣袖を貸さア、これ
を着てわれば温かいき。その代
りにお前袖無し絆天を乃公が
着て老錦頭巾で顔を包み、うど
んの荷を昇げば乃公だと気がつく
めえ。マサカ鍋焼屋に化げた
とは思よまいから、追かけて來
た奴も見のがすだらう、どうか
そうしてくんな」

「いやだよ」
「まあいやだと言はねえで早
くしてくれ！」
「無理往々に押へつけて手早く
着物を取かへてしまふ。うどん
屋は呆氣に取られてゐる。構
はするつさと荷を見ざ
「なアベやアきうどん……お
雑煮やーい」
「アレッ、お前さんうまいね
やつた事があるかい」
「馬鹿にするなよ、一生懸命
だからこそやるんだそのつもり
でお前も氣取られねえやうにモ
ソト離れて後から來なよ……鍋
やきうどーん……」

「お前さんうまいね
やつた事があるかい」
「馬鹿にするなよ、一生懸命
だからこそやるんだそのつもり
でお前も氣取られねえやうにモ
ソト離れて後から來なよ……鍋
やきうどーん……」

「お前袖無し絆天を乃公が
着て老錦頭巾で顔を包み、うど
んの荷を昇げば乃公だと気がつく
めえ。マサカ鍋焼屋に化げた
とは思よまいから、追かけて來
た奴も見のがすだらう、どうか
そうしてくんな」

「アハ……そりや來ねえよ、
来る筈がねえ」
「どうして……」
「先刻言つたのは皆な嘘だ、
口から出まかせの拵へ事だ」
「エツ、嘘だと……オイ／＼
なんだつてそんな嘘をついたの
だ。いゝ加減な事を言つて、人
を脅かさなくつていゝじやない
か。お前も醉興の男だな」

「アハ……まあ腹を立てずに
落ついて聞けよ。喧嘩の相手に
追かけられ捕まれば命を取られ
るどころの驚きやねえ。もつ
と大變なことがあるんだ」

「へニー」

「日本薬局

クスリは

ねえか

「怒るなよ／＼。アもう此
處まで來れば大丈夫だ。濟まね
る事かと思つたが、然しさつき
たがこへ來るまで誰も追つ
かけて來なかつたじやないか」

「アハ……そりや來ねえよ、
来る筈がねえ」

「どうして……」

「先刻言つたのは皆な嘘だ、
口から出まかせの拵へ事だ」

「エツ、嘘だと……オイ／＼
なんだつてそんな嘘をついたの
だ。いゝ加減な事を言つて、人
を脅かさなくつていゝじやない
か。お前も醉興の男だな」

「アハ……まあ腹を立てずに
落ついて聞けよ。喧嘩の相手に
追かけられ捕まれば命を取られ
るどころの驚きやねえ。もつ
と大變なことがあるんだ」

「ヘニー」

「日本薬局

クスリは

ねえか

「怒るなよ／＼。アもう此
處まで來れば大丈夫だ。濟まね
る事かと思つたが、然しさつき
たがこへ來るまで誰も追つ
かけて來なかつたじやないか」

「アハ……そりや來ねえよ、
来る筈がねえ」

「どうして……」

「先刻言つたのは皆な嘘だ、
口から出まかせの拵へ事だ」

「エツ、嘘だと……オイ／＼
なんだつてそんな嘘をついたの
だ。いゝ加減な事を言つて、人
を脅かさなくつていゝじやない
か。お前も醉興の男だな」

「アハ……まあ腹を立てずに
落ついて聞けよ。喧嘩の相手に
追かけられ捕まれば命を取られ
るどころの驚きやねえ。もつ
と大變なことがあるんだ」

「ヘニー」

「日本薬局

クスリは

ねえか

「怒るなよ／＼。アもう此
處まで來れば大丈夫だ。濟まね
る事かと思つたが、然しさつき
たがこへ來るまで誰も追つ
かけて來なかつたじやないか」

「アハ……そりや來ねえよ、
来る筈がねえ」

「どうして……」

「先刻言つたのは皆な嘘だ、
口から出まかせの拵へ事だ」

「エツ、嘘だと……オイ／＼
なんだつてそんな嘘をついたの
だ。いゝ加減な事を言つて、人
を脅かさなくつていゝじやない
か。お前も醉興の男だな」

「アハ……まあ腹を立てずに
落ついて聞けよ。喧嘩の相手に
追かけられ捕まれば命を取られ
るどころの驚きやねえ。もつ
と大變なことがあるんだ」

「ヘニー」

「日本薬局

クスリは

ねえか

「怒るなよ／＼。アもう此
處まで來れば大丈夫だ。濟まね
る事かと思つたが、然しさつき
たがこへ來るまで誰も追つ
かけて來なかつたじやないか」

「アハ……そりや來ねえよ、
来る筈がねえ」

「どうして……」

「先刻言つたのは皆な嘘だ、
口から出まかせの拵へ事だ」

「エツ、嘘だと……オイ／＼
なんだつてそんな嘘をついたの
だ。いゝ加減な事を言つて、人
を脅かさなくつていゝじやない
か。お前も醉興の男だな」

「アハ……まあ腹を立てずに
落ついて聞けよ。喧嘩の相手に
追かけられ捕まれば命を取られ
るどころの驚きやねえ。もつ
と大變なことがあるんだ」

「ヘニー」

「日本薬局

クスリは

ねえか

「怒るなよ／＼。アもう此
處まで來れば大丈夫だ。濟まね
る事かと思つたが、然しさつき
たがこへ來るまで誰も追つ
かけて來なかつたじやないか」

「アハ……そりや來ねえよ、
来る筈がねえ」

「どうして……」

「先刻言つたのは皆な嘘だ、
口から出まかせの拵へ事だ」

「エツ、嘘だと……オイ／＼
なんだつてそんな嘘をついたの
だ。いゝ加減な事を言つて、人
を脅かさなくつていゝじやない
か。お前も醉興の男だな」

「アハ……まあ腹を立てずに
落ついて聞けよ。喧嘩の相手に
追かけられ捕まれば命を取られ
るどころの驚きやねえ。もつ
と大變なことがあるんだ」

「ヘニー」

「日本薬局

クスリは

ねえか

「怒るなよ／＼。アもう此
處まで來れば大丈夫だ。濟まね
る事かと思つたが、然しさつき
たがこへ來るまで誰も追つ
かけて來なかつたじやないか」

「アハ……そりや來ねえよ、
来る筈がねえ」

「どうして……」

「先刻言つたのは皆な嘘だ、
口から出まかせの拵へ事だ」

「エツ、嘘だと……オイ／＼
なんだつてそんな嘘をついたの
だ。いゝ加減な事を言つて、人
を脅かさなくつていゝじやない
か。お前も醉興の男だな」

「アハ……まあ腹を立てずに
落ついて聞けよ。喧嘩の相手に
追かけられ捕まれば命を取られ
るどころの驚きやねえ。もつ
と大變なことがあるんだ」

「ヘニー」

「日本薬局

クスリは

ねえか

「怒るなよ／＼。アもう此
處まで來れば大丈夫だ。濟まね
る事かと思つたが、然しさつき
たがこへ來るまで誰も追つ
かけて來なかつたじやないか」

「アハ……そりや來ねえよ、
来る筈がねえ」

「どうして……」

「先刻言つたのは皆な嘘だ、
口から出まかせの拵へ事だ」

「エツ、嘘だと……オイ／＼
なんだつてそんな嘘をついたの
だ。いゝ加減な事を言つて、人
を脅かさなくつていゝじやない
か。お前も醉興の男だな」

「アハ……まあ腹を立てずに
落ついて聞けよ。喧嘩の相手に
追かけられ捕まれば命を取られ
るどころの驚きやねえ。もつ
と大變なことがあるんだ」

「ヘニー」

「日本薬局

クスリは

ねえか

「怒るなよ／＼。アもう此
處まで來れば大丈夫だ。濟まね
る事かと思つたが、然しさつき
たがこへ來るまで誰も追つ
かけて來なかつたじやないか」

「アハ……そりや來ねえよ、
来る筈がねえ」

「どうして……」

「先刻言つたのは皆な嘘だ、
口から出まかせの拵へ事だ」

「エツ、嘘だと……オイ／＼
なんだつてそんな嘘をついたの
だ。いゝ加減な事を言つて、人
を脅かさなくつていゝじやない
か。お前も醉興の男だな」

「アハ……まあ腹を立てずに
落ついて聞けよ。喧嘩の相手に
追かけられ捕まれば命を取られ
るどころの驚きやねえ。もつ
と大變なことがあるんだ」

「ヘニー」

「日本薬局

クスリは

ねえか

「怒るなよ／＼。アもう此
處まで來れば大丈夫だ。濟まね
る事かと思つたが、然しさつき
たがこへ來るまで誰も追つ
かけて來なかつたじやないか」

「アハ……そりや來ねえよ、
来る筈がねえ」

「どうして……」

「先刻言つたのは皆な嘘だ、
口から出まかせの拵へ事だ」

「エツ、嘘だと……オイ／＼
なんだつてそんな嘘をついたの
だ。いゝ加減な事を言つて、人
を脅かさなくつていゝじやない
か。お前も醉興の男だな」

「アハ……まあ腹を立てずに
落ついて聞けよ。喧嘩の相手に
追かけられ捕まれば命を取られ
るどころの驚きやねえ。もつ
と大變なことがあるんだ」

「ヘニー」

「日本薬局

クスリは

ねえか

「怒るなよ／＼。アもう此
處まで來れば大丈夫だ。濟まね
る事かと思つたが、然しさつき
たがこへ來るまで誰も追つ
かけて來なかつたじやないか」

「アハ……そりや來ねえよ、
来る筈がねえ」

「どうして……」

「先刻言つたのは皆な嘘だ、
口から出まかせの拵へ事だ」

「エツ、嘘だと……オイ／＼
なんだつてそんな嘘をついたの
だ。いゝ加減な事を言つて、人
を脅かさなくつていゝじやない
か。お前も醉興の男だな」

「アハ……まあ腹を立てずに
落ついて聞けよ。喧嘩の相手に
追かけられ捕まれば命を取られ
るどころの驚きやねえ。もつ
と大變なことがあるんだ」

「ヘニー」

「日本薬局

クスリは

ねえか

「怒るなよ／＼。アもう此
處まで來れば大丈夫だ。濟まね
る事かと思つたが、然しさつき
たがこへ來るまで誰も追つ
かけて來なかつたじやないか」

「アハ……そりや來ねえよ、
来る筈がねえ」

「どうして……」

「先刻言つたのは皆な嘘だ、
口から出まかせの拵へ事だ」

「エツ、嘘だと……オイ／＼
なんだつてそんな嘘をついたの
だ。いゝ加減な事を言つて、人
を脅かさなくつていゝじやない
か。お前も醉興の男だな」

「アハ……まあ腹を立てずに
落ついて聞けよ。喧嘩の相手に
追かけられ捕まれば命を取られ
るどころの驚きやねえ。もつ
と大變なことがあるんだ」</